

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 藤井恵介

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限って利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。



## ■講義題目 世界遺産の現在—日本からみる

## ■講義概要

世界遺産は、第二次世界大戦の後、国際的な文化財保護を目的とした、世界的な運動を背景としている。日本は世界遺産条約を1992年に批准し、その後、法隆寺・姫路城をはじめとして、既に20件（文化遺産16件、自然遺産4件）が登録されている。その思想的な背景、制度について述べ、現在の日本における登録の難しさ、課題などについて論じる。

## (1) 日本における文化財制度の成立

戦前、戦後、種類の増加、

木造建築の修理の開始・展開、史跡整備（1990以降、吉野カ里遺跡、平城宮大極殿）

## (2) 世界遺産の成立

前回講義参照、ヴェニス会議、ヴェニス憲章、世界遺産条約、

条件：各国内で法的に確かに保護されていること（日本では文化財保護法）、費用は各国内で負担する。

## (3) 4つのオーセンティシティ

・Design ・Material ・Craftsmanship ・Setting

木造 VS 石造

日本と世界との違い

## (4) 日本の木造建築の修理、世界遺産の修理への協力

ネパール事件、日本の修理方法、日本の修理への批判

ラールセンの著書、Architectural Preservation in Japan, 1994

Nara Conference, 1994、Nara Document、各国の文化的伝統の尊重

## (5) 日本における世界遺産の登録

1992 世界遺産条約批准、1993 年の登録、法隆寺・姫路城

2017 年までに 21 件

## (6) 現在の状況、

原爆ドーム 1996、価値はどこに？ 史蹟として、アメリカの対応、

世界遺産の公募、2006—7 年

史跡整備、大極殿の復元建築、ユネスコからの批判、2012

軍艦島の場合、RC 建築の保存の課題、護岸の課題、2013—現在

都市鎌倉の場合、ユネスコ主催の本会議で否決、2013

単独の世界遺産、群としての世界遺産、2001 平泉、2013 富岡製糸場と絹産業遺跡群

その他の場合、世界に日本の文化をいかに伝えるのか？

## (7) 文化財とは？ 文化遺産とは？ 文化資源とは？

あらゆるものが対象となる、分類、区分とは？

誰が決めるのか？ 主体は？ 国家コレクション？ 個人コレクション？

好きな“モノ”、 “モノ” への愛？？

- 慶應 4・1868/3 神仏分離令、  
 明治元・1868/4 新政府軍、江戸開城  
 明治 4・1873 大学、「古器旧物保存方」設置の太政官布告  
 ↓  
 明治 5・1874 壬申調査 町田久成  
 フェノロサ・岡倉天心による古社寺調査  
 フェノロサ（東大教員）、M11—23、 岡倉、M13 東大卒 M37 ボストン美術館へ  
 明治 13—27 **古社寺保存金**  
 明治 21・1888 臨時全国宝物取調局（宮内庁内）設置→調査へ→M30 廃止、帝室博物館へ  
 伊東忠太卒業M25、関野貞卒業M28、  
 明治 29・1896 古社寺保存法成立、  
 12月関野貞奈良赴任、新薬師寺本堂、法起寺塔、唐招提寺金堂修理開始  
 明治 30・1897 **古社寺保存法施行（国宝と特別保護建造物）**  
 関野貞奈良県下 250 棟の調査、編年、  
 大正 8・1919 **史蹟名勝天然記念物保護法施行**  
 昭和 4・1929 **国宝保存法成立（すべて国宝へ）、個人所有、城・茶室他**  
 昭和 9—30 頃 法隆寺昭和大修理、報告書の刊行
- 昭和 24/1・1949 法隆寺金堂火災  
 昭和 25・1950 **文化財保護法成立（重要文化財と国宝）、有形文化財（建造物、絵画、彫刻、工芸品、  
 書籍、典籍、古文書）＋無形文化財（演劇、音楽、工芸技術その他、1950）＋民俗  
 文化財（1950）＋記念物（史跡、名称、天然記念物）＋文化的景観（2004）＋伝  
 統的建造物群（1975）**  
 1954 ハーブ条約  
 1964 ヴェニス会議→ヴェニス憲章  
 International Charter for the Conservation and Restoration of  
 Monuments and Sites  
 1965 ICOMOS 設立、International Council of Monuments and Sites
- 昭和 50・1975 文化財保護法改正「**重要伝統的建造物群保存地区**」  
 1972 世界遺産条約採択（ユネスコ総会）1975 から登録開始  
 1980 日本でイコモス国内委員会設立  
 1992 日本、世界遺産条約批准、1993 法隆寺、姫路城、1994 古都京都の文  
 化財、1995 白川郷・五箇山の合掌造集落、
- 平成 8・1996 文化財保護法改正「**登録有形文化財制度**」  
 1996 原爆ドーム、厳島神社、1998 古都奈良の文化財、1999 日光の社寺、2000  
 琉球王国のグスク及び関連遺産群、2004 紀伊山地の霊場と参詣道、
- 平成 16・2004 文化財保護法改正「**文化的景観**」  
 2007 石見銀山遺跡とその文化的景観、2011 平泉、2013 富士山、富岡製糸場  
 と絹産業遺産群、2015 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産  
 業、2016 西洋美術館、2017 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
- 平成 29・2017/7/1 建造物 国宝 282 棟、重要文化財 4892 棟、伝統的建造物群保存地区 114、  
 登録 11,263 件（20000 棟余）